

第1学年 道徳科指導展開例

- 1 主題名 新しいものを生み出すときに
- 2 内容項目 A－真理の探究、創造
- 3 教材名 新しいものを生み出すときに 『「どうせ無理」という言葉に負けない』

4 ねらい（視点）

(1) ねらいとする道徳的価値について（価値観）

アルバート・アインシュタインの言葉に “The important thing is not stop questioning. Curiosity has its own reason for existing.” 「大切なのは、疑問を持ち続けること。神聖な好奇心を失ってはいけない。」というものがある。彼の言葉にある通り、人が成長する上で欠かせないことは様々なことに好奇心を抱き、疑問を持ち続け、探究心を持って解決に導くことである。それが延いては、自己の未来を切り拓く原動力となる探究の精神を養うことに繋がり、たとえ困難に直面しても何とかその局面を打破しようとする意欲に繋がるのである。

(2) 生徒の実態について（生徒観）

入学してから様々な中学校の行事を体験する中で、新しい物事に向かって集団として取り組める生徒が少しずつ増えつつある。自ら率先して行動を起こそうと活動する生徒はもちろん、支え合う仲間との関係も限られる中で失敗やまちがうことを避けようとする生徒に対して、新しい物事に、「どうせ無理」と思わずに自分の可能性を広げる学習を行い、挑戦する意欲を育成させたい。

(3) 教材について（教材観）

ロケット開発に取り組んでいて、小説及びドラマ「下町ロケット」のモデルにもなった北海道赤平市にある産業機器メーカー植松電機の代表取締役植松努氏のエッセイ。植松氏は講義やモデルロケット教室を通じて、人の可能性をうばう言葉である「どうせ無理」をなくし、夢をあきらめないことの大切さを伝える活動を行っている。

本教材を通して、「どうせ無理」と思われることに直面しても、途中で投げ出すことなくその解決の道を自ら模索したり、それでもわからなければ周りの人の助けを求めたりする態度を養いたい。また、「どうせ無理」と思われることでも、発想を転換させることにより実現の可能性が高まることに気付かせたい。

5 本時の展開

	発問と児童生徒の活動	評価・留意点
導入	<p>【導入発問】 小さい頃の夢って何ですか。その夢は今どうなっていますか？</p> <p>*アンパンマン *消防士 *お嫁さん *お花屋さん *プロ選手</p>	<p>○自分の体験に限定しないで聞くことで、多様な発言を期待する。</p>
展開	<p>○教師が本文を読む。</p> <p>【基本発問】 植松さんがロケット作りを社員に提案した時、社員はどうして誰も手を貸さなかったと思いますか。</p> <p>○ワークシートを配布し、個人の考えと理由を書くように指示する。 *ロケットの開発なんてどうせ無理だろうと思ったから *他にもやるべきことがたくさんあるにもかかわらず、実現不可能なことに時間を割きたくなかったから ○何名かの生徒に発表させる。</p> <p>【中心発問】 あなたは「どうせ無理」という言葉に対して、 ①どんな思いをもち②どう動きますか？</p> <p>・<グループ活動> 3人(4人) 1組×8グループ ○ワークシートに中心発問に対する考えを書くよう指示する。 *諦めてやめる *諦めずに食らいつく *努力を続ける *次の目標を考える ・グループ活動後、ホワイトボードに記入し、黒板に貼る。 ○全体で交流する場面を設ける。</p> <p>【補助発問】 「どうせムリだと思っていたこと」の先には何があるだろう。</p> <p>・<グループ活動> 3人(4人) 1組×8グループ ○ワークシートに中心発問に対する考えを書くよう指示する。 *行動を起こす勇氣 *自分の可能性を信じること ・グループ活動後、ホワイトボードに記入し、黒板に貼る。 ○全体で交流する場面を設ける。</p>	<p>○植松さんやその状況、気持ちなどを確認し、内容把握させる。</p> <p>○話し合い活動では、他人の意見を否定しない、グループの意見をまとめないことに留意する。</p> <p>○ホワイトボードを共通した内容で分類する。</p> <p>○評価 真理や真実を求め、探究し続けることの大切さに気付き、自分との関わりの中で考えを深めることができたか、授業観察やワークシートの記述内容から見取る。</p>
終末	<p>○本時の振り返りを道徳シートに記述するよう促す。</p>	<p>○授業を通して考えたことや気付いたことについて書くよう指導する。</p>

※・は生徒の活動、○は教師に関するもの、*は予測される生徒の反応

1 学年「道徳」ワークシート

月	日
---	---

教材名：「どうせ無理」
という言葉に負けない

1 組 番 氏名

1. 小さい頃の夢って何ですか？ → → → → → その夢、今は？今も？どうなっていますか？

--	--

2. 植松さんがロケット作りを社員に提案した時、社員はどうして誰も手を貸さなかったと思いますか？

	<div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>
--	---

3. あなたは「どうせ無理」という言葉に対して、どうやって向き合いますか？

<p>自分の考え（メモ）</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>	
<p>グループの考え（メモ）</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>	

A 自分自身	1	自主・自律
	2	節度・節制
	3	向上心・個性伸長
	4	希望と勇気
	5	真理の探究・創造
B 人との関わり	6	思いやり・感謝
	7	礼儀
	8	友情・信頼
	9	相互理解・寛容
C 集団や社会との関わり	10	遵法精神・公德心
	11	公正・公平
	12	社会参画・公共
	13	勤労
	14	家族愛
	15	よりよい学校生活
	16	郷土愛
	17	伝統文化の尊重
	18	国際理解・国際貢献
D 崇高な生命や自然の	19	生命の尊さ
	20	自然愛護
	21	感動・畏敬の念
	22	よりよく生きる喜び

4. 今日の話し合いを通して、あなたはどのように考え・判断しようと考えましたか。（作者の心情を自分の生活に活かすことができそうですか？また、自分の考えの変化があれば、そのことを中心に文章にまとめておきましょう。

《自己評価》

① 今日の話し合いで自分の考えを持つことができた。	そう思わない → そう思う
	① 1 2 3 4
② 主人公や友人の意見に理解を示すことができたと思う。	② 1 2 3 4
③ 今日の話し合いを通して、新しい考え方を学んだ。	③ 1 2 3 4
④ 今日の話し合いを通して、自分の考え方が変わった。	④ 1 2 3 4
⑤ 今日話し合ったり、考えたりしたことを、生活に活かすことができる。	⑤ 1 2 3 4